

発行日：2025年2月19日（水）

発行者：広報チーム

リハニュース 学習会号

10月7日（月）に出張報告会を行いました。

参加した研修：CRASEED*「脳卒中予後予測セミナー」

（9月7日（土）オンライン開催）

※「CRASEED」とは日本作業療法士協会 SIG 認定施設のことです。

【報告の概要】

○脳卒中予後予測総論

…予後予測の概要や様々な研究結果を説明。多くの研究結果では「高齢」「尿失禁」の項目は予後の阻害因子になる。しかしあくまで研究結果であり阻害因子は各院によって異なる。

○脳卒中予後予測の理論

…年齢や併存疾患などの要因が予後に与える影響について説明。

○脳卒中予後予測の実践

…脳卒中限定ではあるが FIM、発症日数を用いた予後予測方法や退院時 FIM と家族の協力度を用いた自宅復帰率の求め方を説明。上記の方法は予測であり必ず的中するものではない。重要なのがカンファレンスなどで FIM または各日常生活動作介助量の予後を共有することで本人様やご家族様と各職種のゴールや治療経過など方向性について認識の乖離を減らしその人のための支援を提供するためのツールの 1 つとして活用することを目的とする。



学習会こぼれ話

- 伝達講習会には 16 名ほど参加しました。
- 講習会参加された方から「今までにない視点があり参考になった」「予後予測は普段自分の経験則で行っていた場面が多かったが、式など理論に基づいた表し方を知ることができたため日頃の治療でも積極的に活用していきたい」などの感想をいただいた。
- 今回脳卒中患者に限定された FIM を活用した予後予測の求め方であったが、使い方によっては今後の退院支援に有用になるのではと確認できた。
- 使用していくたびに当院の特徴を理解できるので、積極的に活用していきたいと思えます。